

## バブル後の20年で仕送り23%減

# 最近の学生

# 質素勤勉？

大学生協連シンポ

バブル崩壊後の二十年間、ことに伴い、耐久消費財の  
で、大学生を取り巻く状況購入費六万五千円(九〇  
況がどう変わったかを知(年)が、一万七千円(一一  
り、今後の課題を探ろう(年)に激減した。海外旅行  
と、全国大学生生活協同組合などを控え、質素な生活を  
連合会は五日、日比谷図書送っているとした。武内さ  
文化館(東京都千代田区)んは「長引く不況、学生  
で、シンポジウムを開いた。たちは経済的に苦しく、就  
職難などの不安を抱え、大

た。大学生協連は一九六三「学生生活を送っている」と述  
年から加盟大学を対象に学べた。

生生活の実態を調査。今回、また、溝上慎一・京都大  
は九一―二〇一一年のデー、高等教育研究開発推進セン  
タを五人の専門家が分析し、ター准教授によると、大学  
生活で何を重視するかで

た。武内清・敬愛大特任教授は、九二年に19・0%だつ  
の分析では、一カ月の仕送「勉強第一」が、一〇年  
り額は、九万四百五十円は26・0%まで上昇。一方  
(九一年)から六万九千七で「豊かな人間関係」は26  
百八十円(二一年)と23%・6%(九二年)から13%  
減。学生の生活費が減った(二〇年)に半減した。